

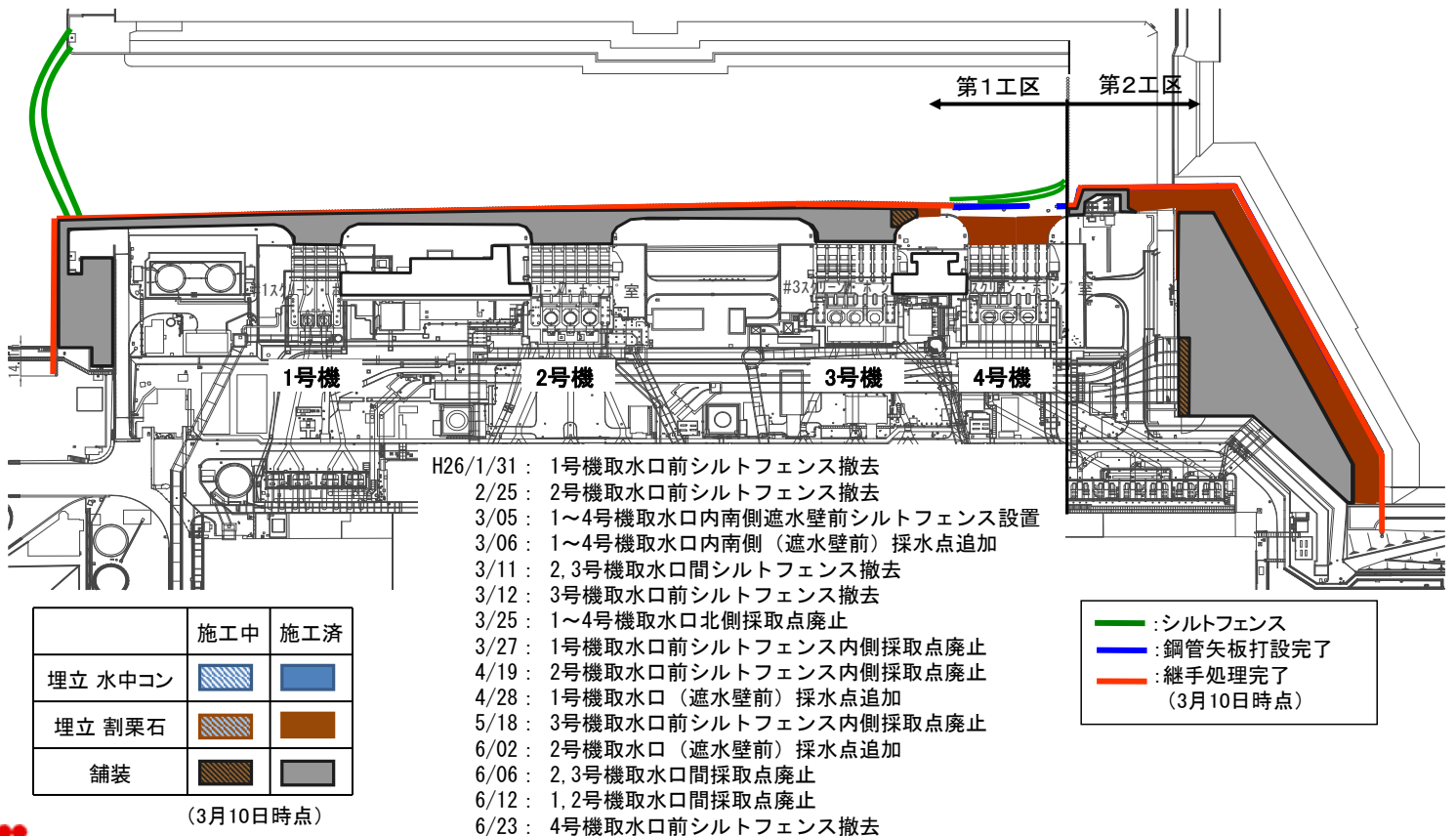
# 港湾の海底土被覆等の状況

平成27年3月26日  
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

## 1. 港湾の状況（海側遮水壁設置工事の進捗）

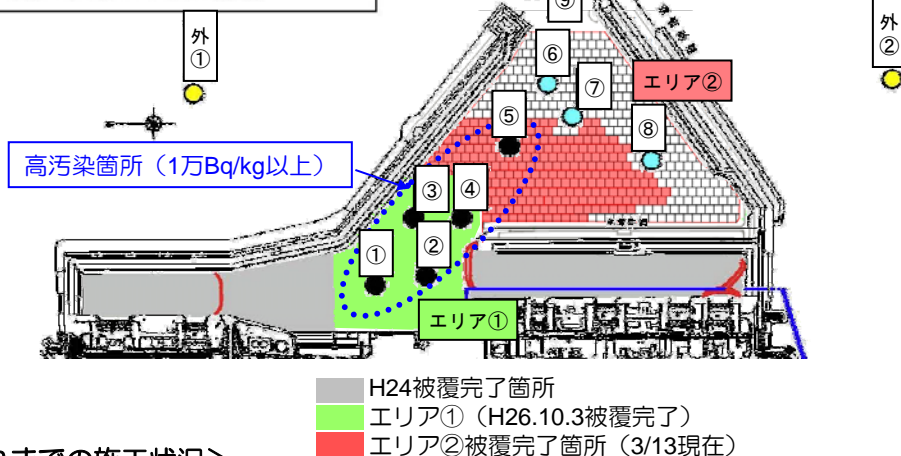


## 2-1. 港湾の状況(港湾内海底土被覆工事の進捗)

港湾内外の海底土調査結果 (H26.3.28公表)

【試料採取日】

1. 平成26年2月25日：黄色の調査点
2. 平成26年2月27日：黒色の調査点
3. 平成26年3月4日：水色の調査点



調査地点	Cs-137 (Bq/kg・乾土)
①	100,000 ~ 190,000
②	39,000 ~ 140,000
③	43,000
④	54,000 ~ 63,000
⑤	31,000 ~ 53,000
⑥	5,500
⑦	9,600
⑧	8,400
⑨	1,300
⑩	1,600
外①	740 ~ 770
外②	630 ~ 680

### <これまでの施工状況>

- ・海底土のセシウム濃度が高い、湾奥から被覆を実施
- ・タンク輸送日について、輸送方との調整や施工法の工夫により、可能な限り被覆作業を実施
- ・特に汚染度の高いエリア① (調査点①~④) については、H26.7.17に開始、H26.10.3完了
- ・引き続きエリア②についてH26.12.24に開始、1万Bq/kg以上の高汚染箇所 (調査点⑤) について被覆は既に完了
- ・3/13時点のエリア②の進捗率は46.6%

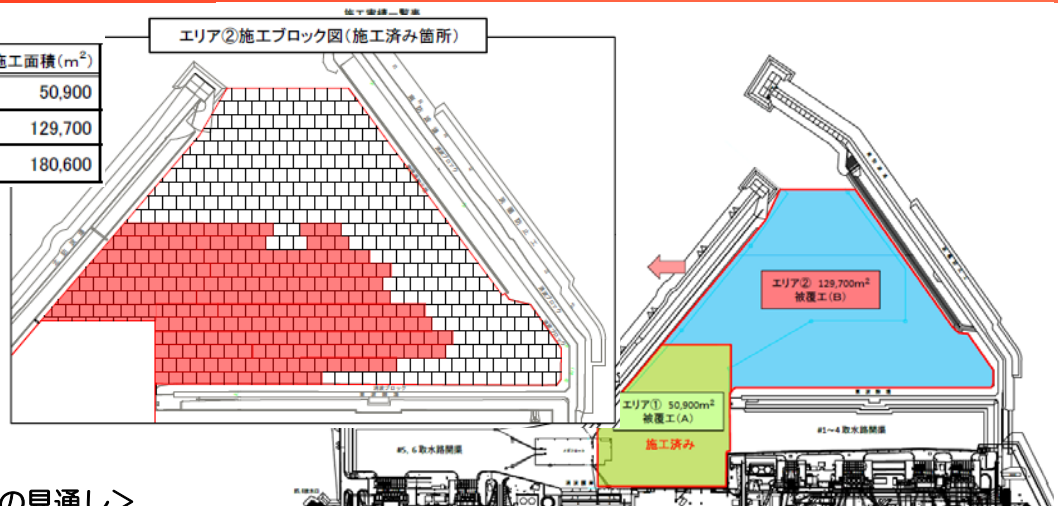
海底土被覆工事施工実績一覧表

施工エリア	施工完了面積(m <sup>2</sup> )	施工面積(m <sup>2</sup> )
エリア① 被覆工(A)	50,900 (100.0%)	50,900
エリア② 被覆工(B)	60,416 (46.6%)	129,700
合計	111,316 (61.6%)	180,600

## 2-2. 港湾の状況(港湾内海底土被覆工事の見通し)

施工実績一覧表

施工エリア	施工完了面積(m <sup>2</sup> )	施工面積(m <sup>2</sup> )
エリア① 被覆工(A)	50,900 (100.0%)	50,900
エリア② 被覆工(B)	60,416 (46.6%)	129,700
合計	111,316 (61.6%)	180,600



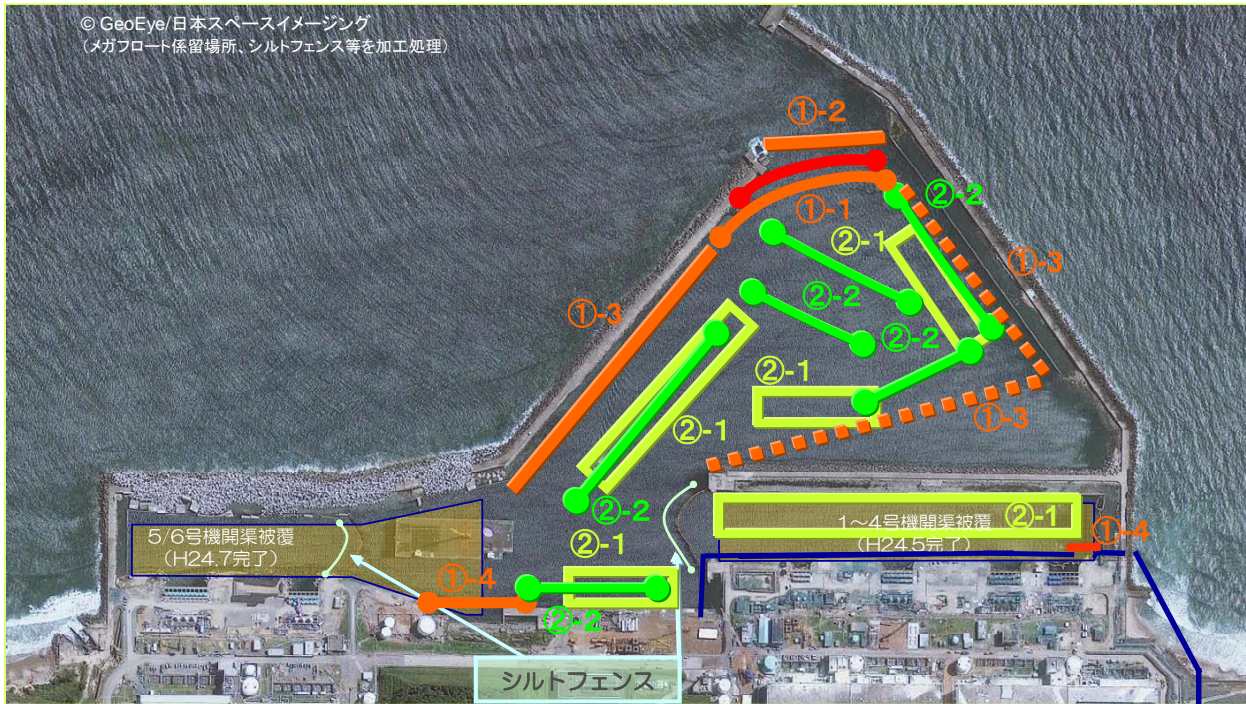
### <作業中断を踏まえた今後の見通し>

- ・海象の良い冬季に中断 (1/21~2/3; 14日間)、当初計画は3月末完了であったが4月以降にずれ込む
- ・4月は海象が悪く、施工可能日が1月の60%以下に低下する (過去の実績より) ため、1月の14日間は4月の24日間に相当 (1.7倍の施工日数が必要)
- ・上記に加え、中断期間中のタンク輸送5回の振替が追加 (輸送日の前日と翌日は船団移動のため施工量低下)
- ・引き続きタンク輸送日の施工や、原則土日稼働により早期被覆完了を目指す
- ・全域被覆完了時期は、5月中旬となる見通し (当諸計画に対し約1.5ヶ月遅延)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
海底土被覆	▼12/14 エリア②被覆開始	作業中断		▼3/13時点 エリア② 46.6%	5/中旬完了予定	▽
	必要な範囲について引き続き2層目被覆					

## 3-1. 魚介類対策実施状況

### 現在実施している対策



①: 魚類移動防止 ①-1: 港湾口底刺し網設置、 ①-2: 港湾口ブロックフェンス設置、  
①-3: 堤防内側仕切り網設置, ①-4: 物揚場シルトフェンス/底刺し網設置など

②: 魚類捕獲 ②-1: カゴ漁 , ②-2: 港湾内底刺し網



東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

5

## 3-2. 魚介類対策実施状況

### 1. 実施中（実施済み）

#### (1) 環境の改善

- 海側遮水壁設置による港湾内への放射性物質流入量の低減 ←遮水壁施工中（H26年9月完了予定）
- 港湾内海底土の被覆
  - ← 1～4号機取水路開渠部、5、6号機取水路開渠部における海底土被覆（H24年5月～）
  - ← 港湾内中央部における海底土被覆  
（海底土の放射性物質濃度調査：H26年2、3月、海底土被覆：H26年7月～）

#### (2) 魚類捕獲・移動防止

- 港湾内かご漁（H24年10月～）、港湾口への底刺し網設置（H25年2月～）、港湾内底刺し網漁（H25年3月～）
- 防波堤内側仕切り網設置（H25年3月～）
- 港湾口におけるブロックフェンス設置（H25年7月～）
- 物揚場前におけるシルトフェンス、底刺し網設置（H25年2月～）
- 1～4号取水路開渠部の海側遮水壁未施工部における底刺し網設置（H26年2月～6月）、シルトフェンス設置（H26年3月～）

### 2. 計画中（検討中）

#### (1) 魚類捕獲・移動防止

- 港湾口底刺し網の漁網の改善（スズキ網の採用、カレイ網の目合い短縮（5寸→3、6寸））
  - ←スズキ網：糸が太く、網丈約8、5mの網は、取り回し（巻揚げ、手入れ等）が困難。（H26年4月）
  - ←スズキ網：糸が太く、網丈約4mの網は、網の取り回しは対応可能。（H26年5月）
  - ←スズキ網：4反（網丈約4m、幅約180m）連結は取り回しが困難（H26年6月～7月）。
  - ←スズキ網：2反（網丈約4m）ずつに分けてテスト（H26年7月～H27年1月）、2回目、7回目では海藻類が多く網に付着し、網の手入れが今案。一定の魚ブロック効果を確認。
  - ←外網：スズキ網（目合い：4.5寸）、内網：カレイ網（目合い：3.6寸）でテスト（①2.25～2.26）、今後数回のテストを予定。

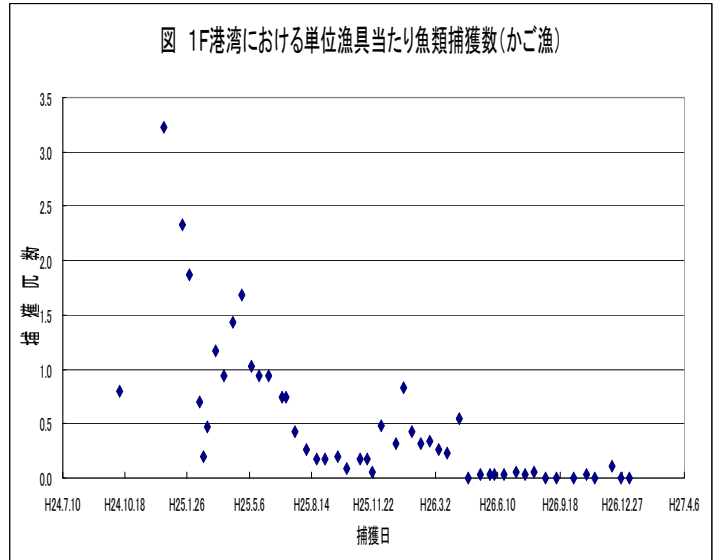
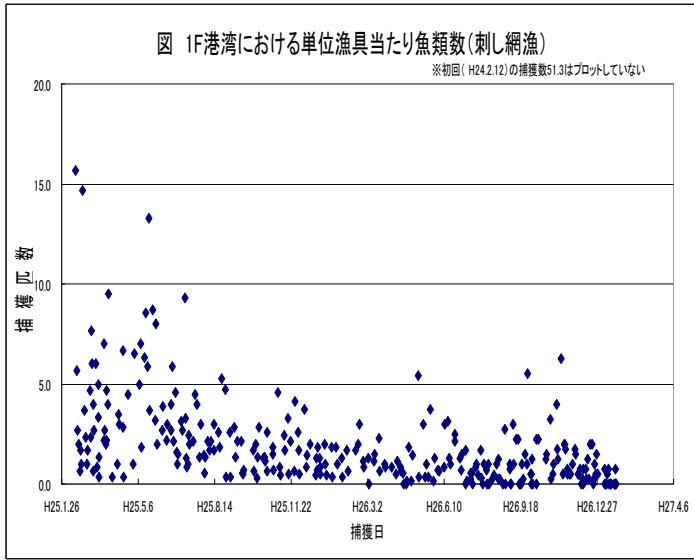


東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

6

## 4-1. 港湾での単位漁具当たり魚類数



## 4-2. 魚種別の重量の経時変化

